

SDG s 推進事務局のご紹介

SDG s 未来都市に選定されてから1年。SDG s を推進するため、県外企業から村にSDG パートナース（有）・松原廣幸（まつばらひろゆき）さんと（株）オーシャナ・積田慧加（つみたすいか）さんが派遣されました。

SDG s の普及啓発、Green Fins（グリーン・フィンズ）の導入、創業支援等、様々な企画の策定などを担当します。

学校、地域、関係団体の皆さまと一緒に、恩納村の課題を解決するお手伝いをいたします。



松原廣幸さん

皆様、はじめまして。東京のコンサルティング会社 SDG パートナースから参りました、松原廣幸と申します。

生まれも育ちも東京のコンクリートジャングルの中だったので、恩納村の雄大で美しい自然に感動しています。駐在する間に、美しい恩納村、また沖縄という歴史の深い土地の課題を少しでも解決し、10年、100年と続く恩納村を形作っていくために貢献させていただきたいと考えています。

好きな食べ物は、肉と米と麺、中学校からラグビーをやっているの、少しでも共通点を感じた方、共通点を全く感じない方もお声がけください。どうぞ宜しくお願い致します。

積田慧加さん

はじめまして。スキューバダイビングと海の総合サイト ocean+α（オーシャナ）の積田慧加と申します。

海と海に潜ることが大好きで、その楽しさを伝えるだけでなく、この素晴らしい海の美しさや豊かさを持続可能なものにするために何かできないかと思い、この仕事をしています。

沖縄に来て1か月、毎日美しい海や夕日、そして恩納村産のモズクのおいしさに感動しています。

恩納村の課題、特に海やダイビングに関わる部分を中心に、みなさんと協力しながら解決していきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。



SDG s を知ろう！5

SDG s（持続可能な開発目標）は、貧困や不平等・格差、気候変動などの問題を解決することを目指す、世界共通の17の目標です。

目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう



「災害に強いインフラをつくり、みんなが参加できる持続可能な経済発展を進め、新しい技術を生み出しやすくする」という目標です。

持続可能で、災害に強いインフラ（水道・電気・鉄道・インターネットなどの施設や設備のこと）をつくり、経済発展と人々の健康で安全な暮らしを支援します。

小規模な企業にお金を貸したり、技術の支援を行います。また、企業は、環境にやさしい技術を導入し、持続可能性を高めます。

目標10 人や国の不平等をなくそう



「国と国との間にある不平等や国の中での不平等を減らす」という目標です。

貧しい人たちの収入を増やせるよう継続的に支援します。差別的な法律や習慣をなくし、差別を受けてきた人々に必要な支援を行います。

不利な立場にある人を守るような法律や政策を取り入れ、他の国に移住する人が法律によって守られるようにします。